

日本中東学会ニューズレター

JAMES
NEWSLETTER



No.151
2018/05/07

目 次

第 34 回年次大会の案内と最終プログラム.....	1
『日本中東学会年報 (AJAMES)』編集委員会報告	7
事務局より	8
編集後記.....	8

第 34 回年次大会の案内と最終プログラム

すでにお知らせのとおり、2018 年度の年次大会は上智大学四谷キャンパスで開催されることになりました。例年どおり、大会の 1 日目が公開企画と総会、2 日目が研究発表になります。どうぞよろしく御参集くださいますようお願い申し上げます。

1. 1 日目の企画

1 日目 (5 月 12 日) の企画は、公開講演会です。上智大学イスラーム研究センターとの共催、総合グローバル学部の協賛で、「十字軍と現代—ヨーロッパ、中東、そして日本」と題した公開講演会を開催します。

2. 2 日目の個人研究発表・企画セッション

2 日目 (5 月 13 日) は、8 つの部会に分かれて個人研究発表、ならびに 3 つの企画セッションが行われます。詳細は下記の最終プログラムをご覧ください。

3. 当日の参加申込

事前申込は 4 月 20 日 (金) に締め切りますが、当日も年次大会と懇親会への参加は受け付けます (2 日目のお弁当代と託児所の利用申し込みはお受けできません)。当日

受付の場合の大会参加費は2,000円、懇親会費は6,000円(学生会員は5,000円)です。

4. 会場へのアクセス

上智大学四谷キャンパス(東京都千代田区紀尾井町7-1)

上智大学四谷キャンパスの位置は下記のURLでご確認ください。

http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/map/map_yotsuya

5. 大会についての連絡先

日本中東学会第34回年次大会実行委員会

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学外国語学部 岩崎えり奈研究室

Tel. 03-3238-3953 E-mail: jamesophia2018@gmail.com

6. 日本中東学会大会第34回年次大会最終プログラム

第1日 2018年5月12日(土)/May 12(Sat.), 2018】

13:00~16:45 公開講演会

会場/Room 6-307

「十字軍と現代: ヨーロッパ、中東、そして日本」

十字軍はヨーロッパ世界とイスラーム世界とが出会った歴史的出来事でした。しかし、この出会いは、両世界の経済的、文化的な交流を促進しただけでなく、互いに「他者」として認識し始める契機になったともいわれます。その後、「十字軍」という概念は、歴史的事実から離れて独り歩きし、政治や経済や文化の多様な文脈で使われるようになりました。本講演会では、十字軍にかかわる諸問題を、歴史的出来事であると同時に、現代的な概念の問題としても議論したいと思います。

13:00~13:05 開会・趣旨説明 私市正年(上智大学)

13:05~13:45 櫻井康人(東北学院大学)「ヨーロッパ史からみた十字軍」

13:45~14:25 太田敬子(北海道大学)「イスラーム史からみた十字軍」

14:25~15:05 松本高明(都立富士高校)「歴史教育における十字軍」

15:05~15:45 保坂修司(日本エネルギー経済研究所)「言説としての十字軍」

15:45~16:00 休憩

16:00~16:45 討論、まとめと閉会 私市正年

(共催)イスラーム研究センター、(協賛)上智大学総合グローバル学部

17:00~18:00 日本中東学会総会

18:30~20:30 懇親会(2号館5階 学生食堂)

第2日 2018年5月13日(日) /May 13(Sun.), 2018

【企画セッション】

12:40~14:10 企画セッション 1/Panel Session 1 (日本語/英語 in Japanese & English)

教室/Room 2-408

「日本人アラビア語学習者の現状と課題：アラビア語教育のニーズとメソッド」

司会：依田純和 (大阪大学)

アブデルラフマーン エル・シャルカーウィー/Abdelrahman el Sharqawy (大阪大学)

“Learning Arabic in Japan: Reflections on Needs, Methods and Results”

鷺見朗子 (京都ノートルダム女子大学)、鷺見克典 (名古屋工業大学) 「自己決定理論に基づくアラビア語学習動機づけ：日本の大学におけるアラビア語専攻、非アラビア語外国語専攻、非外国語専攻学生の比較」

富永正人 (東京外国語大学) 「Proficiency からのアラビア語教育文法再考」

コメンテータ：福田義昭 (大阪大学)

14:20~15:50 企画セッション 2/Panel Session 2 (日本語/英語 in Japanese & English)

教室/Room 2-408

「日本国外でのアラビア語学習」

岡崎英樹 (四天王寺大学) 「アラビア語教育における4技能とは何か：『ACTFL 熟達度評価指針』策定に至る議論から考える」

竹田敏之 (京都大学) 「現代アラブ世界におけるアラビア語教育の伝統：モーリタニアの文法学習を事例として」

アブデルラフマーン エル・シャルカーウィー/Abdelrahman el Sharqawy (大阪大学)

“Arabic Learners and Difficulties in Achieving Continuity in Learning”

近藤久美子 (大阪大学) 「語学留学の功罪：多重言語世界において何をどう学ぶのか」

榮谷温子 (慶應義塾大学) 「外国語習得における学習者の『自律性』」

12:40~14:10 企画セッション 3/Panel Session 3 (日本語)

教室/Room 2-409

「紛争地における地域研究の方法およびその成果」

ファシリテーター・コメンテータ：青山弘之 (東京外国語大学)

浜中新吾 (龍谷大学) 「世論調査による中東地域研究の回顧と展望」

高岡豊 (中東調査会) 「紛争下のシリアについての調査と課題」

山尾大 (九州大学) 「地域研究と政治学を架橋する：イラクを事例に」

12:40~14:10 企画セッション 4/Panel Session 4 (日本語)

教室/Room 2-407

「現代イスラームにおける『伝統』の継承とジェンダー」

司会：長沢栄治 (東京大学)

小野仁美 (神奈川大学) 「イスラーム改革思想家イブン・アーシュールの『シャリーアの目的』論：思想とその拡がり」

高橋圭 (日本学術振興会) 「現代アメリカにおける『伝統イスラーム』への回帰とジェ

ンダー言説」

澤井真 (京都大学) 「男／女の解消：スーフィーの人間観」

後藤絵美 (東京大学) 「無意識の伝統主義：邦訳クルアーンとジェンダー」

コメンテータ：小林春夫 (東京学芸大学)

【個人研究発表】 所属に付された J は大学院学生を指す。

第1部会/Session 1 (日本語／英語 in Japanese & English)

教室/Room 2-408

9:00-9:40 Lin Cheng-Wei (Michigan State University) “Frequency Effect of Arabic Root Morpheme on Word Recognition”

9:40-10:20 アルモアメン・アブドラー/Almoamen Abdalla (東海大学) 「アラビア語放送通訳のストラテジーとその手法に関する考察：アルジャジーラニュースの放送通訳を例に」

10:20-11:00 モハンマド・ファトヒー/Mohamed Fathy (東京都市大学) 「アラビア語の『外の関係』の名詞修飾：『ふつうの内容補充』を中心に」

11:00-11:40 竹田敏之 (京都大学) 「現代アラビア語の休止形に関する伝統的規範と応用実例：半島方言とクルアーン読誦流派を中心に」

11:40-12:20 Yun Eun Kyeong (Hankuk University of Foreign Studies) “Study on the Sociolinguistic Situation in Egypt: Focusing on Arabic Diglossia”

第2部会/Session 2 (in English)

教室/Room 2-402

9:00-9:40 Murayama Konomi (Tokyo University of Foreign Studies) “Works of Ali Shariati and their Intended Readers”

9:40-10:20 Koo Gi Yeon (Seoul National University) “The Cries of the Lioness: Iranian Women's Political Participation during the Green Movement 2009”

10:20-11:00 Kim Kangsuk (Dankook University) “South Korea-PLO Relations in Wake of the Camp David Accords”

11:00-11:40 Alena Kulinich (Seoul National University) “Justifying Wealth and Poverty by the Qur’an: Qur’anic Proofs in Hujaj al-Qur’an of Ahmad ibn Muhammad al-Razi (7th/13th Century)”

11:40-12:20 Kim Donghwan (Hankuk University of Foreign Studies, South Korea) “The Competition Law Regime in Islam: A Comparative Perspective”

14:20-15:00 Sim Woohyang (Waseda University, J) “Higher Education beyond Occupational Attainment: A Case of Gulf Countries”

15:00-15:40 Yamashita Yoko (Waseda University, J) “The Reconfiguration of Public and Private Spheres in Europe: Cases of Headscarf and Face-Veil Bans”

15:40-16:20 Sean Foley (Middle Tennessee State University) “To Go with the Grain: The Rise of Saudi Arabia’s Modern Artistic Movement”

第3部会/Session 3 (日本語)

教室/Room 2-403

- 9:00-9:40 岩坂将充 (同志社大学) 「トルコにおける『強い政治指導者』の出現とその構造的要因」
- 9:40-10:20 渡邊駿 (京都大学、J) 「21世紀におけるヨルダン君主制の変容：ヨルダン体制中枢エリートの通時的分析から」
- 10:20-11:00 佐野東生 (龍谷大学) 「イラン政治におけるシーア派思想の影響と実態：ハッサン・ロウハーニー大統領の例から」
- 11:00-11:40 金信遇 (上智大学、J) 「現代チュニジアの地域構造に関する基礎研究：フランス保護領期における人口の地域分布」
- 14:20-15:00 小林周 (日本エネルギー経済研究所) 「なぜ内戦後のリビアは安定しないのか：移行政府の『正統性』への着目」
- 15:00-15:40 岡部友樹 (京都大学、J) 「仮想的人口動態と第二共和政レバノンにおける選挙制度」
- 15:40-16:20 白谷望 (愛知県立大学) 「モロッコにおける分断的政治領域の再生産：地域別投票行動と政治意識」

第4部会/Session 4 (日本語)

教室/Room 2-404

- 9:00-9:40 赤川尚平 (慶應義塾大学、J) 「イギリスにおけるイスラーム認識とオスマン帝国：パン・イスラーム主義への対応としての『アラブ人カリフ論』」
- 9:40-10:20 池端落子 (京都大学、J) 「イスラーム国際世論形成とテロ問題：OICの役割を中心に」
- 10:20-11:00 役重善洋 (大阪経済法科大学) 「パレスチナにおけるムスリム青年協会の設立と1928年エルサレム世界宣教会議への抗議活動について」
- 11:00-11:40 篠本創 (京都大学、J) 「湾岸地域に於ける米国のオフショア・バランシング：ニクソン政権期」
- 11:40-12:20 西舘康平 (東京外国語大学、J) 「水の安全保障から遡るエジプトの安全保障の議論の系譜」
- 14:20-15:00 向井智哉 (早稲田大学、J)、金信遇 (上智大学、J)、近藤文哉 (上智大学、J)、松木祐馬 (早稲田大学、J) 「ムスリムへの受容的態度に対する情報提示の影響」
- 15:00-15:40 小島宏 (早稲田大学) 「2000年代後半フランスにおけるムスリム移民1世・2世若者の宗教的飲食制限」
- 15:40-16:20 前田君江 (東京大学) 「ムスリム児童文学とファウズィア・ギラニ・ウィリアムズ Fawzia Gilani Williams」

第5部会/Session 5 (日本語)

教室/Room 2-405

- 9:00-9:40 平寛多朗 (東京外国語大学) 「チュニジアにおけるアラビア語文学史とワタニーヤ」
- 9:40-10:20 佐藤愛 (京都大学、J) 「未来の『パレスチナ』：在米ディアスポラ詩人

スヘイル・ハンマードにおける‘home’と‘people’

10:20-11:00 岡真理 (京都大学) 「カナファーニー・コード: ガッサーン・カナファーニー『ハイファに戻って』(1970)におけるいくつかの謎をめぐって

11:00-11:40 飯野りさ (日本学術振興会) 「シリア正教徒共同体における世俗歌謡と民族感情: 音楽表現にみる故郷のイメージに着目して」

第6部会/Session 6 (日本語)

教室/Room 2-406

9:00-9:40 竹村和朗 (日本学術振興会) 「『期間の定めのあるワクフ』を作り出す論理: 1946年法律第48号の第5条に関する議会論議の読解から」

9:40-10:20 佐藤友紀 (東京大学、J) 「立憲王政期エジプト国家の『自由』と『イスラーム』の考察: 議事録の分析から」

10:20-11:00 沖祐太郎 (九州大学) 「『戦争法』アラビア語版(カイロ、1872年)のテキスト分析: 捕虜の取扱いに着目して」

11:00-11:40 勝畑冬実 (東京外国語大学) 「エジプト映画における『イスラーム主義』の表象: 1995年から2010年までの作品分析から」

14:20-15:00 岡崎弘樹 (中部大学) 「カーシム・アミーン『女性の解放』の再検討」

15:00-15:40 登利谷正人 (上智大学) 「1929年アフガニスタン内乱におけるインド・ムスリム知識人の関与とその影響: ムハンマド・イクバルとアブドゥル・ガッファール・ハーンの事例を中心に」

15:40-16:20 松田和憲 (京都大学、J) 「南アジアのアフレ・ハディース派とシャー・ワリーウッラー一族のつながり: シャー・ムハンマド・イスマエールの著作に対する評価に着目して」

第7部会/Session 7 (日本語)

教室/Room 2-407

9:00-9:40 篠田知暁 (日本学術振興会) 「マーリク派法学におけるムスタグリク・アッ=ズィンマに関する学説の発達」

9:40-10:20 野口舞子 (お茶の水女子大学、J) 「12世紀前半マグリブ・アンダルスにおけるジハードのフトバの分析」

10:20-11:00 ハシヤン・アンマール/Khashan Ammar (京都大学) 「啓典解釈学とハディース学から見たイスラーム経済の法学的論点: リバー(利子)とハムル(酩酊物)を中心に」

11:00-11:40 縄田浩志 (秋田大学) 「サウディ・アラビア紅海沿岸ジッダで販売される黒サンゴ製の数珠について」

11:40-12:20 亀谷学 (弘前大学) 「江戸後期貨幣図録の中のイスラーム貨幣」

14:20-15:00 相楽悠太 (東京大学、J) 「イブン・アラビー思想における『霊』(rūh)の概念」

15:00-15:40 山口匠 (東京大学、J) 「ムーセムとミハラジャーン: スィディ・アリ、ハマドゥッシャ教団における介入の試み」

15:40-16:20 近藤文哉 (上智大学、J) 「現代エジプトにおける『マウリドのアルー

サ』の表象：新聞を分析の中心として」

第8部会/Session 8（日本語）

教室/Room 2-409

- 9:00-9:40 岡室美恵子（NPO 研修情報センター）、染矢将和（千葉経済大学）「エジプトの自由変動相場制への移行の影響」
- 9:40-10:20 足立真理（京都大学、J）「イスラーム的喜捨制度の現代的再構築：インドネシアにおけるザカート再定義と慈善団体の新実践の検討」
- 10:20-11:00 清水学（日本貿易振興機構アジア経済研究所）「非軍事的制裁措置の政治経済学」
- 11:00-11:40 武石礼司（東京国際大学）「低炭素社会と中東産油国経済の将来」
- 14:20-15:00 ケイワン・アブドリ/Keivan Abdoly（神奈川大学）「イランにおける企業発展の歴史と現状」
- 15:00-15:40 井堂有子（国際基督教大学）「均一化と階層化：エジプトのパン配給制度と改革、聖域としての『エイシュ・バラディ』」
- 15:40-16:20 田中雅人（東京大学、J）「19世紀末から20世紀前半のパレスチナにおける在地地主の農地経営と生計戦略：アルアラ村ムルヒム家文書から」
（小牧昌平 第34回年次大会実行委員長）

『日本中東学会年報（AJAMES）』編集委員会報告

1. 34-1号 現在編集中

34-1号の編集作業を鋭意続けております。7月にはお手元に届けられる見込みです。

2. J-STAGE 上でのバックナンバー公開

昨年3月の国立情報学研究所の学協会向け論文電子化・公開サービス（NII-ELS）の終了に伴い、『日本中東学会年報』のバックナンバーにインターネット経由でアクセスできない状態が続いており、会員の皆様にはご不便をおかけしました。

このたび、科学技術振興機構（JST）の運営科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）において、バックナンバーの公開を開始いたしましたので、ご報告申し上げます（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ajames/-char/ja>）。現在は、31巻2号（2015年度）まで、閲覧可能となっております。CiNii Articlesからのリンクも貼られていますので、こちらでも検索できます。

なお、プラットフォームが変わったことで、いくつか変更点がございます。

- (1) NII-ELSでは、定額使用料を支払っている機関かあるいは個人で登録した会員、もしくは論文ごとの料金を支払った個人のみがアクセス可能でしたが、J-STAGEは完全オープンアクセスです。したがって、どなたでも、国外からでも、無料で論文をダウンロードすることができます。英語の検索ページも備えられています。

- (2) これまで、投稿申請票では、NII-ELS による公開に同意いただいておりますが、今後は J-STAGE による公開にご同意いただくことになります。
- (3) 日本中東学会では、論文の公開にあたって、1 年間のエンバーゴ期間をもうけております。すなわち、発行後、1 年経つと、自動的に J-STAGE 上で公開されることになります。32 巻 (2016 年度) 以降は、順次公開していきます。

以上の変更点にご留意の上、『日本中東学会年報』をますますご活用いただきますよう、お願い申し上げます。

3. 34-2 号 投稿締切

34-2 号の投稿締め切りは6月1日です。皆様の御投稿をお待ち申し上げます。

本誌に関するお問い合わせ先、原稿投稿先は以下のとおりです。

〒183-8534

東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 近藤信彰気付

『日本中東学会年報』編集委員会

ajames-editor@james1985.org

(近藤信彰 AJAMES 編集委員長)

事務局より

私ども 17 期事務局の任期もようやく折り返し点を迎えました。会長をはじめ理事会、会員各位のお力添えに厚く御礼申し上げます。現在 (当記事執筆時点)、総会・年次大会を控えた事務局はその準備に追われて多忙を極めていますが、今を乗り越えさえすれば一息つけるとの期待を抱きながら日々過ごしています。なお、年度が変わり、ご所属・ご連絡先などに変更があった方々も多いことと存じます。該当する方々におかれては、その旨お早めに事務局までご一報いただきますようお願い申し上げます。

(勝沼聡 事務局長)

編集後記

皆様、今年のゴールデンウィークは充実したときを過ごされたでしょうか。諸般の事情より例年より遅れてしまいましたが、第 151 号をお届けします。第 12 期以来、8 年ぶりにニューズレターを担当したこともあり、2017 年度は刊行時期が遅れがちになってしまいました。さらにいうと、この 10 年ほどの間に少しずつ刊行時期が後

ろにずれるという状況もあるようです。第17期の後半になる今年度は、年間4号発行の数は守りつつ、時期については見直しを行ってみたいと考えています。

今週末はいよいよ上智大学で第34回年次大会が開催されます。上智大学イスラーム研究センター共催、総合グローバル学部協賛の公開講演会「十字軍と現代：ヨーロッパ、中東、そして日本」はなかなか上智らしい企画ではないかと思えます。2日目の研究発表は4つの企画セッションを含め、69本の発表が8会場で行われる予定です。当日参加もできますので、どうぞ四ッ谷にお出でください。お待ちしております。

(赤堀雅幸 ニュースレター担当理事)

日本中東学会ニュースレター 第151号

発行日 2018年5月7日

発行所 日本中東学会事務局

日本中東学会事務局

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶応義塾大学文学部 勝沼聡研究室内

Eメール: james@james1985.org

<http://www.james1985.org/>

郵便振替口座：00140-0-161096(日本中東学会)

銀行口座：三井住友銀行渋谷支店(普)5346808

(日本中東学会)

ゆうちょ銀行口座：〇一九店(当)0161096

(ニホンチュウトウガクカイ)